

No.44, Oct 2015



- 「ややや！北見工業大学から100冊の本がやって来た」展示中です。
- 読書の秋！三浦綾子を読んでみませんか？
- 私のお勧め本 森下辰衛先生がお勧めします。
- 図書館からのお知らせ

「ややや！北見工業大学から100冊の本がやって来た」展示中です

北見工業大学からの蔵書交換展示(通称「ややや！」)の展示が始まっています。

情報システム、機械、環境、エネルギー、マテリアルなど、工学系ならではの100冊が貸出可能です。

とはいえ、難しい技術的な内容の図書だけではなく、『化学者たちの感動の瞬間：興奮に満ちた51の発見物語』のような知的好奇心を掻るエピソード集や、『世界一空が美しい大陸南極の図鑑』といった癒やしの写真集もありますので、疲れたときにもオススメです♪

展示期間は10月20日(火)の13:30までを予定しています。短い期間ですが、ぜひ手に取ってみてください！



読書の秋！三浦綾子を読んでみませんか？



三浦夫妻の表紙が印象的なこの本は夫の三浦光世によるエッセイです。
図・2F開架/一般教養 [910.268/Kib]

この間まで暑かった、と思っていたら一気に秋になった感じですね。秋といえば、読書！この機会に旭川の作家「三浦綾子」の作品を読んでみませんか。「なんだか重そうで手が出ない・・・」という方には、歴史小説「細川ガラシャ夫人」はいかがでしょうか。誰もが知る明智光秀の娘細川ガラシャの生涯を描いた作品です。波乱の時代に強く生きた姿の描写に引きつけられると思います。

もっとヒネリの効いたものを読みたい方には、クリスマスにはまだまだ早いですが、「したきりすずめのクリスマス」はいかがでしょうか。こちらもおなじみの「舌きりすずめ」をベースにした童話・・・と思いきや、意外な展開に・・・。



図・2F開架/一般教養 [726.5/Shi]

もちろん、三浦綾子の宗教観が盛り込まれてはいますが、理解しやすく、三浦綾子文学の入り口作品として、気軽に読むことができます。

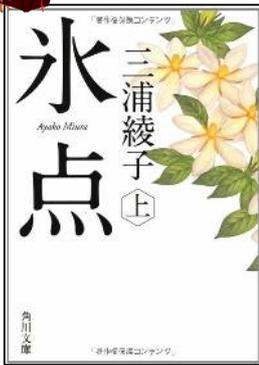
また、判りやすい英文が併記されていますので、英語本に取り組む入門書としてブラッシュアップとして読んでみるのも良いかもしれません。



図・2F文庫新書コーナー
上巻 [BS/Hos/1]
下巻 [BS/Hos/2]



私のお勧め本<第28回> 非常勤講師 森下辰衛 先生



『氷点』は、十三年間の病から癒えた綾子が三浦光世と結婚し、雑貨店を営みながら初めて書いた小説である。一九六四年七月朝日新聞一千万円懸賞小説に入選し、三浦綾子は作家デビューを果たす。大ベストセラーとなり、繰り返しテレビドラマ化された。

旭川市郊外神楽の外国樹種見本林の傍に住む病院の院長辻口啓造の三歳になる娘ルリ子が殺されてしまう。ところがその時、啓造の妻夏枝が若い男の訪問を受けていたことから、啓造は妻をゆるせず、娘を殺した犯人が遺した赤ん坊を引き取ってそれとは知らせずに妻に育てさせる。赤ん坊は陽子と名づけられ美しく成長するが、その出生の秘密を知った夏枝によって、その秘密を突きつけられ、自殺しようとする。凜冽たる旭川の風土を背景に、戦後十七年にわたる一つの家族の愛憎の物語を通して、人間の原罪である自己中心が生み出す悲劇を描く。

愛しかった存在を愛せなくなってしまう淋しさ、自分が愛されるはずのない存在だと知らされる淋しさ、知らないうちに愛する人たちを傷つけ苦しめていたことを知る淋しさ、自分の中にある罪を自分では解決することが出来ない淋しさ。そして、生きていていいという確信を持つことができない淋しさ。“氷点”とはそんな淋しさに心が凍えて、もう生きていられなくなった心のことです。でも三浦綾子はそこにヒロインを突き落としながらも、むしろその“氷点”を解かしてくれるものを希望として指し示そうとしています。拙著『「氷点」解凍』(小学館)は、そのことを解かりやすく解説しています。



氷点(上・下)
続氷点(上・下)
三浦綾子著
図・2F文庫新書コー
ナー BS/Hyo

氷点解凍/森下辰衛著
図・2F開架 910.268/Hyo

図書館からのお知らせ

サイエンスカフェ

10月下旬には、恒例の「図書館サイエンスカフェ」を予定しています。今回も、“いつもは聞けない先生方のお話”を鋭意企画中です！詳細が決まり次第、ポスター等でお知らせしますので、どうぞお楽しみに！

三浦綾子講演会

市内大学連携ウェルビーイングコンソーシアム主催の「1時間でわかる！三浦綾子」はまだ開催未定です。こちらも決定しましたら、ホームページやポスターでお知らせします。

ブラウジングコーナーをご存知ですか

図書館1階のB階段前にある「ブラウジングコーナー」をご存知でしょうか。

本学図書館は、医学資料を中心に収集していますが、ブラウジングコーナーは、文学や一般的な雑誌を置いています。「日経PC21」「AERA」「芸術新潮」「山と溪谷」「キネマ旬報」といった、気軽に読める雑誌があります。ゆったり座れる椅子もあり、北海道の郷土資料も隣接しています。ちょっと息抜きの時間にいかがでしょうか。

